本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

50件の電話番号やスケジュールを記憶・オートダイアル機能
ワールドタイム/時刻・時報アラーム/タイマー・1/100秒ストップウオッチ

DATA BANK
フォーンダイアラー

555

使用説明書

555

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造にはなっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付きの状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。

防塵性●通常の防塵性を備えておりますが、ほこりの多いところでのご使用はお避けください。特に、スピーカーの放音口にほこりや砂が入るとかかりにくくなりますのでご注意ください。

バンド●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

お手入れ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

温度●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。
また、+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気●家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換●電池交換は必ずお買いあげ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

データの保護について

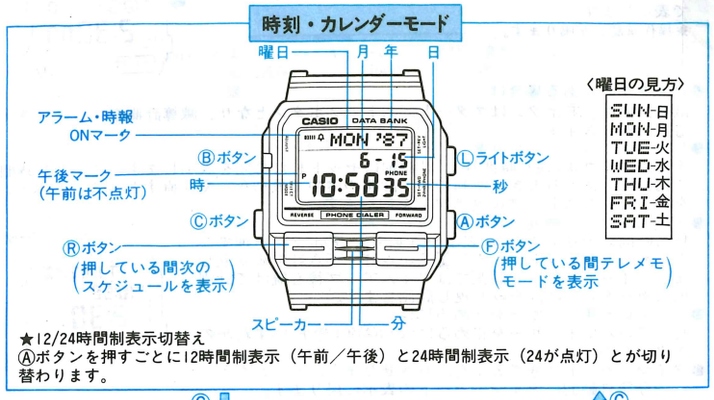
故障、修理、電池交換等に起因するデータの消失による、損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録等に控えをとっておいてください。

液晶パネルの交換について

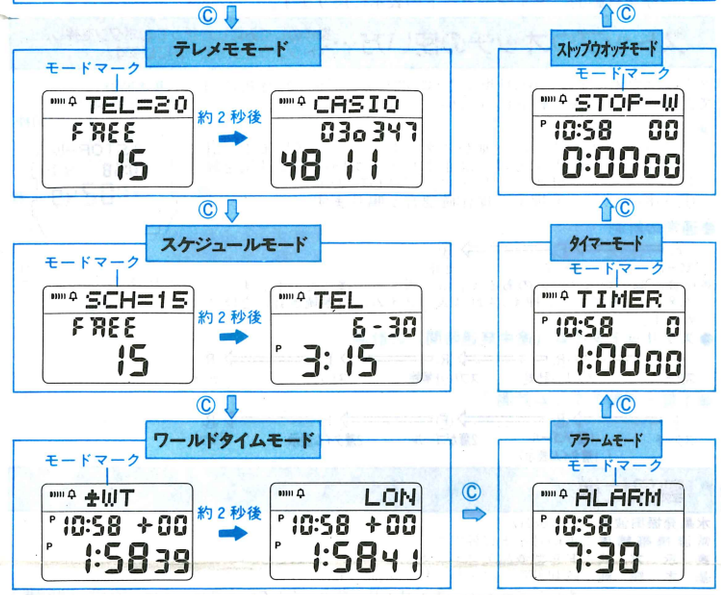
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買いあげ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。
※各モードでその機能を使用した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。



★12/24時間制表示切替え
Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後)と24時間制表示(24が点灯)とが切り替わります。



秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、Ⓑボタンを押して時刻セットモードにします。
※秒が点滅します。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。



※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

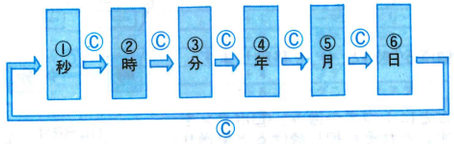
(1)時刻・カレンダーモードのときにⒷボタンを押して時刻セットモードにします。

確認 ⇨ "秒"が点滅していますか?



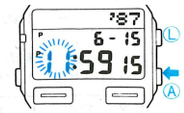
(2)ⒸボタンをⒸボタンを押します。

※セットモードのとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





※「年」は西暦下2桁で、1985年～2029年までセットできます。
※曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。



(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



※スケジュール機能にデータ入力してあり、年・月・日の変更をした場合は自動ソートが行なわれます。

●カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
●時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に時刻・カレンダー表示にもどります。

テレメモ機能の使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、テレメモモードにします。

テレメモ機能はアルファベット・数字9文字(7文字以上はスクロール表示)、数字14桁までの電話番号などを50件までメモリーできます。
※メモリー件数はスケジュール機能と合わせて50件までです。
また、Ⓐボタンを押すことにより自動的にプッシュホン式の電話をかけることができます。(「オートダイアル機能」参照)
テレメモモードに切り替えた直後は前回テレメモモードでサーチした内容が表示され、Ⓕボタンを押すごとにアルファベット順に、Ⓡボタンを押すごとに逆アルファベット順に表示されます。(自動編集機能)



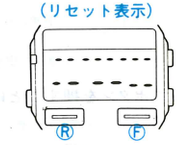
約2秒後



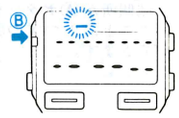
■セット(修正)のしかた

(1)テレメモモードでⒻまたはⓇボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。
※データが50件分セットされているときは、リセット表示とはならず、"◇FULL"と表示されますので、不要なデータを消去してください。(「消去の仕方」参照)

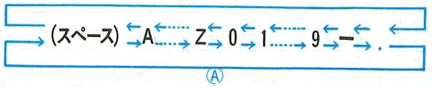
(リセット表示)

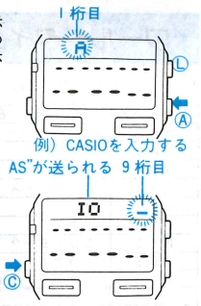


(2)Ⓑボタンを押すと名前部1桁目が点滅します。
このときⒸボタンを押すごとに点滅個所が名前部1桁目から9桁目、電話番号部1桁目から14桁目までを1桁ずつ移動します。点滅個所がセット可能です。



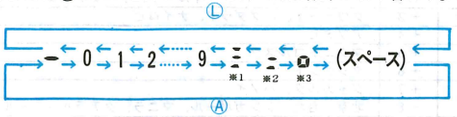
(3)ⒶまたはⓁボタンを押してアルファベットおよび番号を表示させます。目的の文字を表示させたらⒸボタンを押して次の桁を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンを押して目的の文字を表示させる操作を繰り返し、名前部をセットまたは修正します。
※Ⓐ・Ⓛボタンは押し続けると早送りができます。
●ⒶまたはⓁボタンを押すごとに以下の順でアルファベットが切り替わります。





【名前部入力上の注意】
アルファベットのO（オー）を数字の0（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を名前部に使うと、自動編集（並べ替え）のときに正しく並べ替えられないことがありますのでご注意ください。

名前部の入力が終わったら、Ⓒボタンを押して電話番号部を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンで番号をセットまたは修正します。
・ⒶまたはⓁボタンを押すごとに以下の順で数字が切り替わります。





※1 プッシュボタンの「 ✻ 」として使います。
※2 プッシュボタンの「 ＃ 」として使います。
※3 ローカルマークで市外局番等の区切りに使い、電話番号の" ◘ "以前の部分を発信しなくさせることができます。" ◘ "は1件に1つだけ使え、2つ以上入力したときは2つ目以降が" − "となります。（「ローカル機能」参照）

(4)セットが終わったらⒷボタンを押すと"自動編集"が行なわれ、メモリーした番号がアルファベット順に並びかえられセット完了です。
※自動編集はアルファベットの9文字を1桁目から比較して行なわれ、順序はスペース、A～Z、0～9、−、・の順となります。



●テレメモのセットで表示を点滅させたままにした場合は、2～3分後、自動的にテレメモモードの表示に戻ります。

●連続セット
1度に数件の電話番号をメモリーさせるときは、(3)の操作で番号をセットした後、ⒻまたはⓇボタンを押すとリセット表示またはメモリーされている名前と電話番号が点滅状態で表示されます。このとき(3)の操作をくりかえし行なってメモリーできます。すべてのセットが終わったら、最後にⒷボタンを押します。

●スクロール表示
テレメモ機能の名前部の入力文字数は9文字、スケジュール機能のメッセージ部の入力文字数は14文字ですが、7文字以上入力した場合はⒻまたはⓇボタンでサーチした後、1度に6文字を表示し、約1秒後から表示が右から左に順に送られて（スクロール）表示します。
例：OGASAWARA

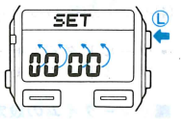


■消去の仕方
テレメモモードでⒻまたはⓇボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓑボタンを押します。このとき（名前部1桁目が点滅）Ⓐ・Ⓛボタンを同時に押すと"◇CLEAR"と約2秒間表示され、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときはⒷボタンを押して点滅を止めます。

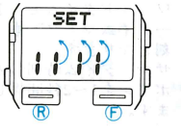


■シークレットゾーンについて
シークレットゾーンにメモリーした電話番号などは、暗証番号を入力しないと見ることができません。他人に見られたくない番号などはこのゾーンにメモリーしておくと安心です。

●暗証番号のセット…まだ暗証番号をセットしていないときは、まず暗証番号をセットします。
(1)テレメモモードでⓁボタンを押すと暗証番号のセットとなり、4桁の数字が0～9で回転します。



(2)Ⓕボタンを押すごとに1桁ずつ数字が止まりますので、任意の番号で止めます。
もし、間違った数字で止まったときは、Ⓡボタンを押すと再び回転しはじめます。
※暗証番号は忘れにくい番号にしてください。



(3)暗証番号をセットした後はリセット表示となり、シークレットゾーンへの入力となります。
このとき通常のテレメモモードと同じにⒷボタンを押して名前部を点滅させ、新たなデータを入力できます。
※入力の方法は通常のテレメモ機能を参照してください。



(4)シークレットゾーンへの入力が終わったら、Ⓛボタンを押すと通常のテレメモモードに戻ります。
※これでシークレットゾーンから抜け出したことになります。シークレットゾーンにセットしたデータを見たり、新たにシークレットゾーンにデータをセットしたいときは、再び暗証番号を入力しなくてはなりません。



●シークレットゾーンに入るには…暗証番号をすでにセットしているとき。
(1)テレメモモードでⓁボタンを押すと暗証番号をたずねてきますので、セットの時と同様にⒻボタンで4桁の数字を入力します。



(2)暗証番号が一致したときは"OK"と表示されシークレットゾーンとなります。もし、入力した数字と暗証番号が間違っているときは"ERROR"と表示され、約2秒後再び暗証番号の入力に戻ります。



(3)シークレットゾーンでは通常のテレメモモードと同じにⒻ・ⓇボタンによるサーチやⒷボタンによる入力ができます。



●シークレットゾーンから通常のテレメモモードに戻すにはⓁボタンを押します。

●暗証番号の変更
(1)1度セットした暗証番号を変更したいときは、テレメモモードでⓁボタンを押して暗証番号の入力状態にし、Ⓐボタンを押すと現在セットされている暗証番号の入力となりますので、Ⓕボタンで4桁の数字を止めて暗証番号を入力します。



(2)現在セットされている暗証番号を入力すると新たな暗証番号の入力となりますので、新規セットと同様にⒻボタンで4桁の数字を止め、任意の暗証番号をセットします。
新たな番号がセットされると、シークレットゾーンとなり変更は完了です。



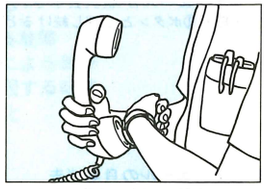
暗証番号を忘れたときは…
★この操作によりシークレットゾーンにメモリーされていたデータは暗証番号とともにすべて消去されますので、ご注意ください。
テレメモモードでⓁボタンを押して暗証番号の入力状態にします。このときⒷボタンを3秒以上押し続けると"◇CLEAR"を約1秒間表示して、暗証番号とシークレットゾーンにメモリーされていたデータが消去されますので、新たに暗証番号をセットしてください。
※通常のテレメモモードにメモリーされていたデータは消去されません。



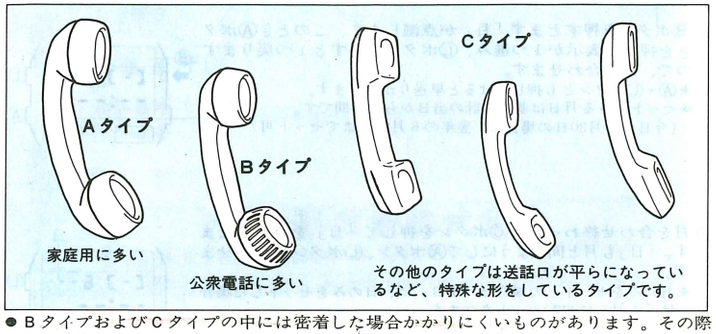
■オートダイアル機能について
オートダイアル機能とは、テレメモモードでⒻ・Ⓡボタンによりサーチした電話番号をⒶボタンを押すだけで自動的に相手先に電話がかけられる便利な機能です。また、シークレットゾーンにメモリーした電話番号も、暗証番号を入力して表示させれば同様にかけられます。
本機は、プッシュ回線用プッシュボタン式電話専用ですので、ご使用前にプッシュ回線であることを確認してください。



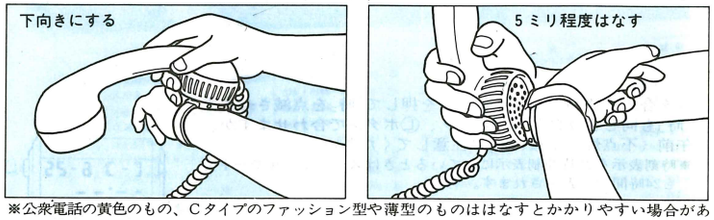
●受話器とのセット方法
(1)テレメモモードで相手先の電話番号をⒻ・Ⓡボタンによりサーチします。
(2)電話の受話器を持ち上げて、本機をつけている腕と反対側の腕で持ちます。
(3)Ⓐボタンを押し、受話器を垂直に立て、本機のスピーカーを受話器の送話口に合わせて密着させます。Ⓐボタンを押すと"PHONE"が点灯し約3秒後にダイアル音が鳴ります。
※プッシュ音発信中は本機と送話口がズレないようにご注意ください。プッシュ音が確実に送話口に伝わりません。



●ご使用上の注意
●本機はプッシュ回線用プッシュボタン式電話機でのみご利用いただけます。（ダイアル式電話機は不可）
●形状がプッシュボタン式でも、ダイアル回線のプッシュボタン式電話機では使用できません。事前にプッシュボタンを押して「ピッ、ポッ、パッ…」のように鳴ることをご確認ください。
●本機の放音口に浸水している場合は、必ず軽く振って水分を取り除いてからご使用ください。
●送話口が傷んでいたり汚れているもの、配線が切れているもの、電話カバーや芳香プタなど送話口との間に遮へいがあるものは、かかりにくくなります。
●駅のホーム、ガード下など騒音の多い所ではかかりにくくなりますので、なるべく騒音の少ない所でかけるか、騒音を遮へいするようにしてかけてください。
●もし、電話がかからなかった場合は、いったん電話を切って、かけなおす前に必ず電話機の発信音を確認した後、再操作してください。電話を切らない場合は間違い電話のもととなりますので必ずいったん切ってから再操作してください。
●電池寿命が近づいてくると、電話がかかりにくくなりますのでご了承ください。
●電話機には様々なタイプがあり、本機との相性も様々です。電話機のタイプや設置されている条件によってはかからない場合がありますのでご了承ください。



●BタイプおよびCタイプの中には密着した場合かかりにくいものがあります。その際には送話口を下向きにするか、約5ミリ程度はなすとかかりやすくなる場合があります。



※公衆電話の黄色のもの、Cタイプのファッション型や薄型のものははなすとかかりやすい場合があります。

●ローカル機能
ローカル機能とは、電話をかける場合市内／市外で不要となる市外局番や、社内電話機などで必要になる"0"発信など、要・不要により使い分ける機能です。
ローカル機能を使う電話番号にローカルマーク" ◘ "をセットしておくと、Ⓐボタンを続けて2回押すだけで" ◘ "以前の番号が表示から消え、" ◘ "以降の電話番号のみ発信されます。
※発信終了後に消えていた番号が表示されます。
※"0"発信に用いる場合、"0"の発信と電話番号との間に何秒かの「間（ま）」が必要な電話には使えません。



スケジュール機能の使い方…操作のしくみにしたがってⓒボタンを押し、スケジュールモードにします。

スケジュール機能はメッセージ14文字（表示は7文字以上のときは、スクロール）、月・日・時・分など最大50件までメモリーでき、セット日のセット時刻になるとメッセージとともに20秒間電子ブザーが鳴ります。
また、時刻・カレンダーモードではⓇボタンを押している間、現在時刻以降で直近のスケジュールを表示する機能もついています。

●スケジュールのサーチ

スケジュールモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押すごとにスケジュールが順次表示されます。
※Ⓕ・Ⓡボタンとも押し続けると早送りができます。



約２秒後

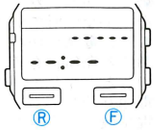
●スケジュールの自動消去

基本時計の日付が更新されるとき、当日の過ぎ去ったスケジュールが自動的に消去されます。

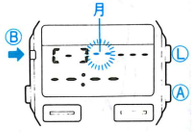


■スケジュールのセット（修正）のしかた

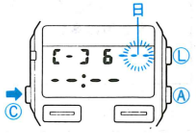
(1)スケジュールモードでⒻまたはⓇボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。
※データが50件分セットされているときは、リセット表示とはならず、“◇ＦＵＬＬ”と表示されますので、不要なデータを消去してください。（「消去の仕方」参照）



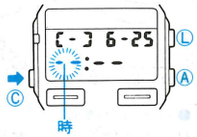
(2)Ⓑボタンを押すとまず「月」が点滅します。このときⒶボタンを押すと表示が１つ進み、Ⓛボタンを押すと１つ戻りますので、月を合わせます。
※Ⓐ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。
※セットできる月日は基本時計の当日から１年間です。
（今日が６月30日の場合は、翌年の６月29日までセット可）



(3)月を合わせ終わったらⒸボタンを押して「日」を点滅させます。「日」も月と同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせます。
※月のみをセットした場合は「１日」に、日のみをセットした場合は「１月」に自動セットされます。
※月日ともセットしない場合はスケジュールが無効となります。



(4)日を合わせ終わったらⒸボタンを押して「時」を点滅させます。「時」も同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせますが、午前（不点灯）/午後（PM）に注意してください。
※時刻表示を24時間制表示にしているときはスケジュールモードでも24時間制で表示されます。



(5)時を合わせ終わったらⒸボタンを押して「分」を点滅させます。「分」も同じようにしてⒶボタン、Ⓛボタンで合わせます。
※時分をセットしない場合は午前12時が自動セットされます。



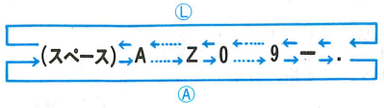
(6)分を合わせ終わったらⒸボタンを押すとプリセットメッセージによるセットとなります。
プリセットメッセージとはよく使う５つのメッセージが組み込まれており、ⒶまたはⓁボタンで1～5の番号を指定するだけで自動的にメッセージを入力できる便利な機能です。



1	APPT(appointment)	約束	4	TEL	電話（連絡）
2	DOCTOR	医者（通院）	5	TRAVEL	旅行（外出）
3	MEETING	会議			

プリセットメッセージを使わないときはそのままⒸボタンを押してメッセージ入力に進みます。

(7)メッセージを自分で入力するときはⒸボタンを押してメッセージ１桁目を点滅させ、ⒶまたはⓁボタンでアルファベットまたは数字をセットします。
ⒶまたはⓁボタンを押すごとに以下の順でアルファベットと数字が切り替わります。





(8)Ⓒボタンを押すごとに入力個所が１桁ずつ移動しますので、Ⓐ・Ⓛボタンで選び、Ⓒボタンで移動させながらメッセージを入力します。
※入力個所が行き過ぎた場合は、Ⓒボタンを押して月・日・…の順に点滅を送り、訂正個所に合わせます。



(9)セットが終わったらⒷボタンを押すと“自動編集”が行なわれ、現在時刻以降から「月・日・時・分」の近い順に並び替えられ、セット完了です。
※自動編集はアルファベットの９文字を１桁目から比較して行なわれ、順序は月・日・時・分の順となります。



●スケジュールのセットで表示を点滅させたままにした場合は、２～３分後、自動的にスケジュールモードの表示に戻ります。

〈連続セット〉
１度に数件のスケジュールをメモリーさせるときは、(8)の操作で番号をセットした後、ⒻまたはⓇボタンを押すとリセット表示またはメモリーされている番号が点滅状態で表示されます。このとき(2)～(8)の操作をくりかえし行なってメモリーできます。すべてのセットが終わったら、最後にⒷボタンを押します。

●スケジュールの報知方法

基本時計（時刻・カレンダーモード）の月日・時刻とスケジュールの月日・時刻が一致したときは、メッセージと電子ブザー（20秒間）で報知します。
※メッセージが７文字以上入力されているときは、右から左に流れて（スクロール）表示されます。（テレメモ機能のスクロール表示）



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸⒻⓇのいずれかのボタンを押します。
※メッセージの表示は20秒間続きます。

●モニターアラーム

スケジュールモードでⒶボタンを押し続けると、電子ブザーが鳴ります。

■消去の仕方

スケジュールモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓑボタンを押します。このとき（表示が点滅）Ⓐ・Ⓛボタンを同時に押すと“◇ＣＬＥＡＲ”と約２秒間表示され、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときはⒷボタンを押します。



ワールドタイムの使い方…操作のしくみにしたがってⓒボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界24都市の時刻をワンタッチで知ることができます。

都市コード	都　市　名	時差	同一標準時の他の都市・地域
－－－	―――	－11	ミッドウェー島
ＨＮＬ	ホノルル	－10	タヒチ島
ＡＮＣ	アンカレッジ	－９	ノーム（アラスカ）
ＬＡＸ	ロサンゼルス	－８	サンフランシスコ、シアトル、ラスベガス
ＤＥＮ	デンバー	－７	エルパソ
ＣＨＩ	シカゴ	－６	ダラス、メキシコシティ、ヒューストン
ＮＹＣ	ニューヨーク	－５	パナマシティ、ボストン、モントリオール
ＣＣＳ	カラカス	－４	サンチアゴ、プエルトリコ
ＲＩＯ	リオデジャネイロ	－３	サンパウロ、ブエノスアイレス
－－－	―――	－２	フェルナンドデノローニャ島
－－－	―――	－１	アゾレス諸島
ＬＯＮ	ロンドン	±０	〈グリニッジ標準時〉　ダブリン、リスボン
ＰＡＲ	パリ	＋１	ローマ、マドリード、フランクフルト、ハンブルグ
ＣＡＩ	カイロ	＋２	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート、ケープタウン
ＭＯＷ	モスクワ	＋３	クウェート、バグダッド、ナイロビ
ＤＸＢ	ドバイ	＋４	アブダビ
ＫＨＩ	カラチ	＋５	マグニトゴルスク
ＤＡＣ	ダッカ	＋６	タシケント
ＢＫＫ	バンコク	＋７	ジャカルタ、ハノイ
ＨＫＧ	香港	＋８	北京、台北、シンガポール、マニラ、クアラルンプール
ＴＹＯ	東京	＋９	ソウル、平壌
ＳＹＤ	シドニー	＋10	グアム島、ウラジオストック、メルボルン
ＮＯＵ	ヌメア	＋11	ポートヴィラ
ＷＬＧ	ウェリントン	＋12	クライストチャーチ、フィジー諸島

※この表は昭和62年作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：ＵＴＣ）を基準としたものです。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードでⒻボタンまたはⓇボタンを押すごとに各標準時を表示します。
また、時刻・カレンダーモードよりモードを切り替えた直後は、前回ワールドタイムモードで最後にサーチした都市の標準時が表示されます。



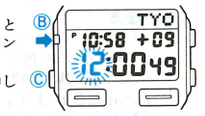
■ワールドタイムの合わせ方

24ヵ所のうち１つの標準時をセットすれば時差にしたがい他の標準時も自動的にセットされます。時刻のセットの仕方は時刻・カレンダーモードの時刻セットと同様ですので参考にしてください。

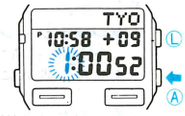
例）都市コード“TYO”（東京）を10時58分にセットする。
(1)ワールドタイムモードのときにⒻまたはⓇボタンを押して“ＴＹＯ”（東京）をサーチします。



(2)Ⓑボタンを押してセットモードにします。
※セットモードのとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。
※秒および12／24時間制は時刻・カレンダーモードの時刻と連動しています。



(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに１つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。
Ⓒボタンでセットしたい個所を選びⒶ・Ⓛボタンで表示をセットします。



(4)セットが終わったら（どの個所が点滅していても）、Ⓑボタンを押すとセット完了です。

• ワールドタイムセットモードで表示を点滅させたまま2～3分間放置すると、自動的にワールドタイムモードの表示に戻ります。

■サマータイムの設定

ワールドタイムモードでⒶボタンを1～2秒間押し続けるとサマータイムマーク“✙”が点灯して、サマータイム（＋１時間）時刻となります。
サマータイム時刻のときに通常の時刻に戻すには、もう一度Ⓐボタンを1～2秒間押し続けてサマータイムマーク“✙”を消します。



アラームの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で時・分がセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせてくれます。
また、毎正時(00分のとき)を"ピッピッ"と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。
※時刻アラーム・時報とも「時刻・カレンダー表示」で表示される時間にしたがいます。



●セットのしかた

(1)アラームモードでⒷボタンを押すと「時」が点滅し、アラームONマークが点灯します。



(2)©ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。



(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)にご注意ください。
注) 基本時計の時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制となります。



©ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分を合わせてください。

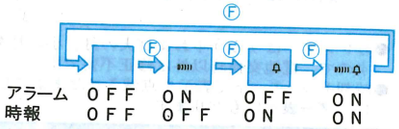
(4)セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にアラームモードの表示に戻ります。

●アラーム・時報のON/OFF

アラームモードのとき、Ⓕボタンを押すごとにアラームONマーク( )、時報ONマーク( )が点灯・不点灯をくりかえします。アラームONマークまたは時報ONマークが点灯しているときに各々鳴ります。



●鳴っている電子ブザーを止めるには

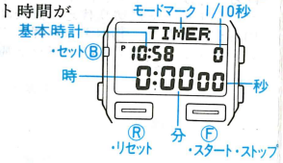
鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸⓇⒻのいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

アラームモードでⒶボタンを押し続けると、電子ブザーが鳴ります。

タイマーの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。



●セットのしかた

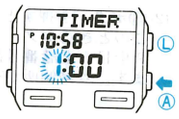
(1)タイマーモードのときにⒷボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)©ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。



(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。



©ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ・Ⓛボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分を合わせてください。
※持ち時間を24時間にセットするときは表示を"0:00"にします。

(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押してセット完了です。
Ⓕボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。
※操作確認音が鳴ります。



●ロスタイムがある場合は

減算計測中、Ⓕボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

●リピート（繰り返し）計測

タイムアップ後(残り時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓕボタンを押して計測ストップ後Ⓡボタンを押します。

●オートリピート機能（自動繰り返し計測）

持ち時間のセットのとき(表示が点滅中)、Ⓕボタンを押すごとにオートリピートマーク"I"が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート計測ではタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸⓇⒻいずれかのボタンを押します。

●タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的にタイマーモードの表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方…操作のしくみにしたがって©ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた

Ⓕボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中Ⓡボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。("SPLIT"表示)
Ⓕ・Ⓡボタンとも押すと操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓕ スタート → Ⓕ ストップ → Ⓡ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓕボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓕ スタート → Ⓡ スプリット計測 → Ⓡ スプリット解除 → Ⓕ ストップ → Ⓡ リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓕ スタート → Ⓡ 1着がゴール (1着タイム表示) → Ⓕ 2着がゴール → Ⓡ 2着タイム表示 → Ⓡ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
カレンダー表示＝年・月・日・曜日 フルオートカレンダー(1985年～2029年)
テレメモ機能：電話番号などを最大50件までメモリー(名前部9文字、電話番号部14桁)
シークレット機能、自動ソート機能
オートダイアル機能 プッシュボタン式電話によるプッシュ音自動送信
スケジュール機能：1年分のスケジュールを最大50件までメモリー(メッセージ14文字、月・日・時・分、プリセットメッセージ5種類)
※メモリー件数はテレメモ機能とスケジュール機能の件数の合計で50件までです。
ワールドタイム機能：表示内容＝世界24都市の時刻を表示 サマータイム設定機能
アラーム機能：時刻アラーム セット単位＝分 電子ブザー＝20秒間
時報 毎正時に2回電子ブザーで報時
タイマー機能：計測単位＝1/10秒 セット単位＝分 電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝24時間 計測機能＝通常計測・積算計測・オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒 計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、ワールドタイムセット機能、タイマーセット機能、タイマーオートリピートセット機能、テレメモセット機能、スケジュールセット機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、12／24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC／MOS－LSI
使用電池：CR－1616(電池別途販売)
※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命：約2年 (1日当り、ランプ1秒点灯、電子ブザーを20秒、オートダイアルを3回使用した場合)

(認定について)	当製品は、電気通信事業法に基づいた技術的条件適合認定機器です。 技術的条件認定番号 O87－N013－0